

令和2年度第7回南区協議会

# 当 日 配 付 資 料

## 【協議事項】

ウ 令和2年度南区地域力向上事業の提案について



事業提案書



令和 2 年 1 月 9 日

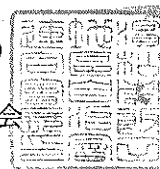
（あて先）浜松市長

所在地 浜松市南区飯田町19

団体の名称 飯田地区自治会連合会

代表者役職・氏名 会長 杉山 邦司

連絡先 Tel



印

印



次のとおり、事業を提案します。

事業名	愛称標識（鶴見橋跡、新貝橋跡）説明看板の作成
実施時期	令和2年12月
実施場所	鶴寿南緑地
概算事業費	105,600円
参加予定人数	団体スタッフ 14名
事業の目的	中央卸売市場・緑化推進センターの周辺は、かつて「天竜川西派川」と言われる天竜川の支流が流れており、鶴見橋や新貝橋が架かっていたが、現在は知る人が少なくなった。 本事業は、飯田地区の歴史を伝える愛称標識の説明看板を作成することで、地域住民が郷土の歴史を知り、郷土愛を醸成するための一助となることを目的とする。
事業の内容 （事業の対象や手法などを具体的に記入）	愛称標識の説明看板の作成を行う。広く見ることができるよう、愛称標識の横に設置予定。 説明看板内容：鶴見橋跡、新貝橋・橋番の跡、杉浦重雄（オリンピック金メダリスト） 説明看板サイズ：1,000mm×700mm 設置予定場所：鶴寿南緑地（南区鶴見町1210-64）
事業効果	地域住民が身近にあった歴史を改めて知ることにより、郷土の文化や歴史を考えるきっかけとなり、郷土愛をはぐぐむことができる。
備考	

裏面に続く

第2号様式 (第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	52,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
自己資金	53,600	飯田地区自治会連合会
計	105,600	

2 支出の部

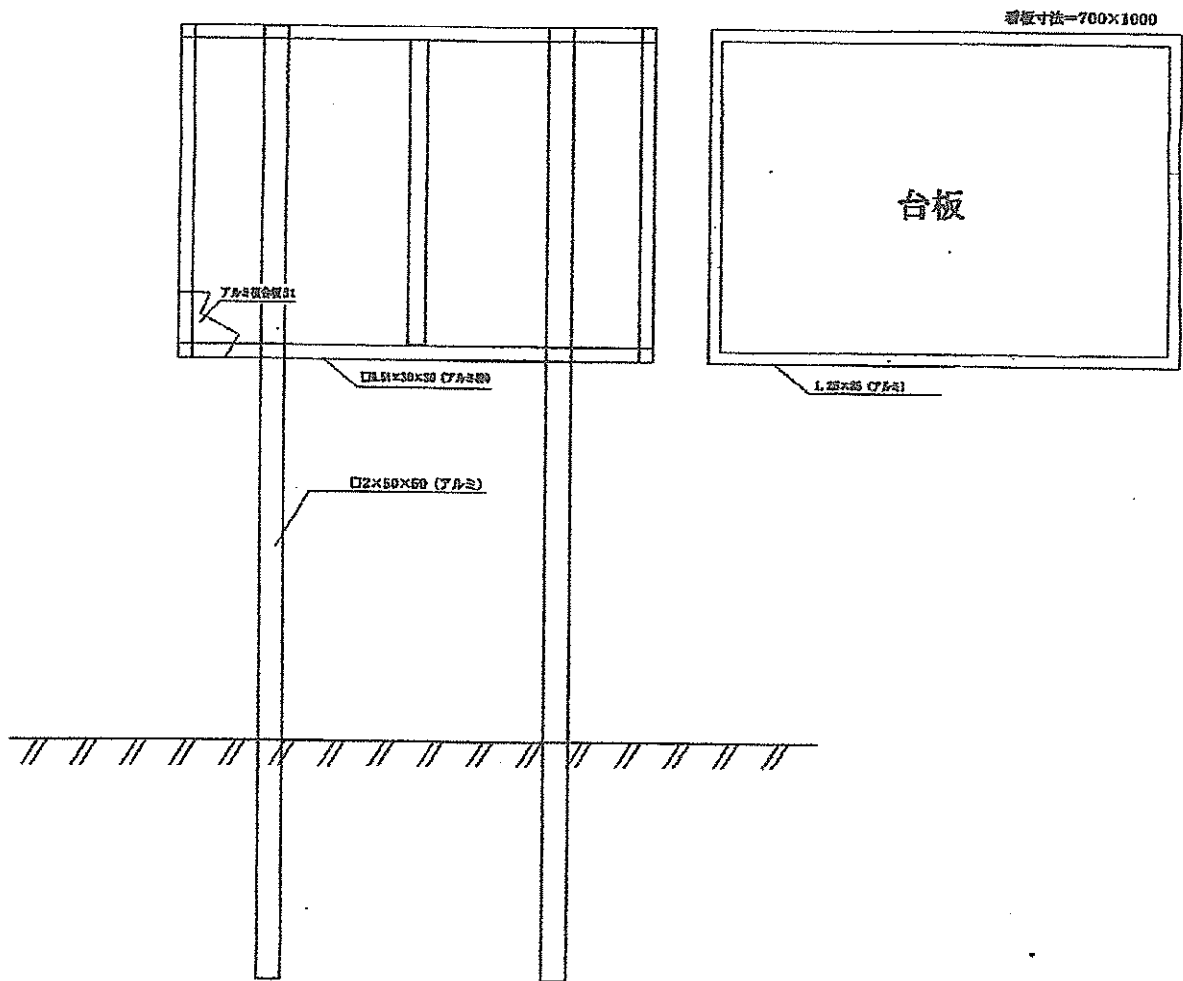
単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)	
報償費			
賃金			
旅費			
需用費	印刷・製作費	24,200	F-9-作成・出力・貼り
役務費			
委託料			
使用料及び賃借料			
原材料費	81,400	アルミ骨組、板(1000×700) 基礎工事材料(以外、砂、砂利、板等既)	
計	105,600		

団体の概要書

団体名	飯田地区自治会連合会		
事務所の所在地	〒435-0045 浜松市南区飯田町19 専用事務所 ・ 住居兼用 ・ その他 )		
	電話	053-464-9006	FAX
	ホームページ		
代表者役職・氏名	連合会長 杉山 邦子		
担当者連絡先	氏名	吉田 和子	
設立年月日	昭和29年4月		
会員数	飯田地区世帯数 4953		
団体の目的	地域の共同体として、快適で、安全な生活環境のもとで健康で文化的な生活を営む事が出来るよう、親睦、防火防犯、交通安全、美化清掃、保健、災害対策等、人々の日常生活に密接な機能を果たし、行政のハイプ役と浜松市自治会連合会との関係もとりつ活動する		
主な活動内容	防災、防犯 環境(ゴミ集積所管理・清掃)、福祉(社協、老人会、子供会などの支援)、集会所管理) 行政組織 委託事業(回覧板の配布)など		

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付



## 鶴見橋跡

鶴見橋は、天竜川西派川にしはせんに明治七年（一八七四）に架けられました。幅一・八メートルの木橋で、天竜川西派川がせき止められる前は川中（鶴見東・新貝・大塚・金折・老間）に通じる唯一の橋でした。この橋は、天竜川が増水するたびに流され、何度も作り替えられました。金折・老間には渡船があり、大塚の人々はこれを利用していました。老間橋ができたのは昭和十五年（一九四〇）でした。

## 新貝橋・橋番の跡

昭和七年（一九三二）鶴見橋に替わって少し南に、幅広く長い立派な木造橋が新貝の人々によって作られました。当時は橋番がいて、徒歩二銭、リヤカー大八車五銭を徴収していました。昭和二十六年（一九五二）の天竜川西派川の川止めまで利用されていました。

## 杉浦重雄（鶴見出身）オリンピック金メダリスト

昭和十一年（一九三六）第十一回オリンピックがベルリンで開催されました。日本の水泳陣は大活躍で、特に平泳ぎの金メダリスト前畑秀子はラジオ中継で日本中を感動させました。この時、ともに金メダルを獲得したヒーローが鶴見出身の杉浦重雄です。磐田南高校トリオといわれた杉浦・寺田・牧野は男子八百メートルリレーで八分五十六秒一の新記録でした。杉浦は子供の頃、天竜川西派川で泳いだり橋から飛び込んだりしていました。

令和二年度 飯田地区自治会連合会

